

Newsletter of Japanese Coral Reef Society

日本サンゴ礁学会ニュースレター 2011/2012 No.2

contents

page

日本サンゴ礁学会第14回大会および公開シンポジウムのご案内	2-8
書評：地球表層環境の進化 —先カンブリア時代から近未来まで—	10
お知らせ	10

会告

2011年度総会の開催について

日本サンゴ礁学会 2011 年度総会を、下記の通り開催いたしますのでご出席下さい。
なお、総会に出席できない方は、委任状を学会事務局・浪崎直子会員 namizaki.naoko@nies.go.jp に 10 月 25 日 (火) までに電子メールでお送り下さい (メールの件名に「2011 年度総会委任状」と明記下さい)。委任状にはご自身の氏名と被委任者の氏名 (または役職) をお書き下さい。被委任者の欄が空白の場合は、総会議長に委任とします。

日本サンゴ礁学会 会長 土屋 誠

2011年11月5日(土) 16:30~18:00 その後受賞記念講演
沖縄県那覇市「沖縄県男女共同参画センター ている」

- 議事(案)：会計報告、監査結果報告、予算計画、各委員会報告、審議等
※総会后、学会賞の受賞講演と鈴木款副会長の受賞記念講演を予定しています。
- 事務局：茅根 創・浪崎直子

1-M-03※	10:15	Coral Triangle 周辺におけるヒトデ類の種分化と遺伝子流動について	○安田仁奈(宮大・農)・Coralie Taquet(東工大)・長井敏(瀬戸内水研)・Suharsono(LIPI)・Miguel Fortes (Univ. Philippines)・Nipon Phongsuwan(Phuket Marine Biology Center)・Catherine Vogler(LMU)・Gert Worhide (LMU)・John Benzie (Coke Uni.)・灘岡和夫(東工大・情報理工)
1-M-04※	10:30	琉球列島のサンゴ礁内湾域から得られた大型ナマコ類について	○小淵正美(琉球大・ライジング)・François Michonneau (Univ. Florida)

休憩 /Break (15分)

座長 /Chairman : 目崎拓真

1-M-05※	11:00	サンゴにおける原腸形成期はいつから始まるのか?	○大久保奈弥(慶大)・David Hayward (ANU)・目崎拓真(黒生研)・野澤洋耕(BRC)・中野義勝(琉大)・Sylvain Foret (JCU)・深見裕伸(宮大)・Eldon Ball (ANU)
1-M-06	11:15	枝状ミドリイシの形態変異と繁殖成功	○山本広美・永田俊輔(海洋博研究センター)・鈴木豪(水研セ・西海区亜熱帯研)・磯村尚子(沖縄高専)
1-M-07	11:30	枝状造礁サンゴの形態	○中森亨(東北大・理)・佐々木理(東北大・博)・鹿納晴尚(東北大・博)
1-M-08※	11:45	イソバナ科の種同定における分類形質の検討	○式場はるか(琉球大・理工)・James Davis Reimer(琉球大・TRO-SIS)

ホール /Hall 15:15 ~ 18:00

座長 /Chairman : 本郷宙軌

1-H-09	15:15	和歌山県串本町における長寿サンゴ骨格の酸素・炭素安定同位体比からみた成長履歴と環境適応	○井笹純平(北大院・理)・渡邊剛(北大院・理)・中村隆志(北大院・理;東工大・情報理工)・阿部理(名大院・環境)・野村恵一(串本海中公園)
1-H-10※	15:30	造礁性サンゴ骨格の窒素同位体比から復元する石垣島白保サンゴ礁の陸起源硝酸負荷の変遷	○山崎敦子・渡邊剛・宮地鼓・角皆潤(北大・院・理)・長谷川均(国士館大)・山野博哉(国環研)
1-H-11	15:45	後氷期の海面上昇期におけるモルディブ北マール環礁の礁形成	○菅浩伸(岡山大・教)・横山祐典(東大・大気海洋研)・鈴木淳(産総研・地質情報)・中島洋典(有明高専)・マホムド・リヤズ(アジア工科大)
1-H-12※	16:00	西表島北東バラス島の形成と維持	○青木健次(東京大・理)・茅根創(東京大・理)・山野博哉(国環研)・岩塚雄大(五洋建設)・片山裕之(五洋建設)・関本恒浩(五洋建設)・磯部雅彦(東京大・新領域)

休憩 /Break (15分)

座長 /Chairman : 中村 崇

1-H-13	16:30	スギノキミドリイシ表面におけるバクテリア相の年変動	○磯村尚子・儀武菜美子・上間遼(沖縄高専・生物資源)・和田実(長崎大・水産)
1-H-14	16:45	大規模白化から10年を経たサンゴ Winners と Losers	van Woessik R (Florida Inst Tech)・酒井一彦(琉球大・熟生)・Ganase A (FIT)・Loya Y (Tel Aviv Univ)
1-H-15※	17:00	Differential post-bleaching recovery of reefs in Motobu, Okinawa	○P Cabaitan (Univ. Ryukyus), K Sakai (Univ. Ryukyus), H Yamamoto (Ocean Expo Research Center)
1-H-16※	17:15	竹富島周辺海域におけるサンゴ群集構造の季節変化	○松本陽・篠野雅彦・桐谷伸夫・山之内博・樋富和夫・田村兼吉(海技研)・荒川久幸(海洋大)
1-H-17	17:30	ミドリイシ属サンゴの生活史: 群体形と攪乱への応答の関係	○向草世香(JST さきがけ・長大水産・琉大熟生研)・新垣誠司(九大天草臨海)・酒井一彦(琉大熟生研)
1-H-18	17:45	サンゴ分布北上とそのモニタリング	○山野博哉・杉原薫・河地正伸(国環研)・野島哲(九大・天草臨海)・岩瀬文人(黒潮生物研)・野村恵一(串本海中公園セ)・清本正人(お茶大・湾岸セ)・横山耕作(NPO 法人 OWS)

会議室 /Meeting Room 15:15 ~ 18:00

座長 /Chairman : Frederic Sinniger

1-M-09※	15:15	Sponge-zoanthid associations in southern Japan.	○J.A. Montenegro-Gonzalez (Univ. Ryukyus), J.D. Reimer (TRO-SIS, Univ. Ryukyus)
1-M-10※	15:30	サンゴ礁洞窟におけるスナギンチャク類の多様性	○藤井琢磨(琉球大・理工)・James Davis Reimer (琉球大・TRO-SIS)
1-M-11※	15:45	Developing a Composite Index for Vulnerability of Coastal Communities in Baler, Aurora, Philippines	○P.M. Orenco (Hokkaido University), M. Fujii (Hokkaido University)
1-M-12	16:00	Modeling residence time and particle dispersal in a mariculture area, Northwest Philippines	○E. Magdaong (Hokkaido Univ.), C.Villanoy (Univ. of the Phils)

休憩 /Break (15分)

座長 /Chairman : 作野裕司

1-M-13※	16:30	漂流プイ観測による石西礁湖から琉球諸島下流域に広がるサンゴ卵輸送の研究	○高橋悠太郎(神戸学院大・人文)・鹿島基彦(神戸学院大・人文)・櫻井かおり(神戸学院大・人文)
1-M-14	16:45	船舶搭載イメージング蛍光ライダーによる竹富島周辺海域のサンゴ分布調査	○篠野雅彦・山之内博・松本陽・桐谷伸夫・樋富和夫・田村兼吉(海技研)
1-M-15	17:00	サンゴ蛍光撮影装置が捉えた実海域におけるサンゴの変化	○古島靖夫(JAMSTEC)・鈴木貞男(O.R.E.)・丸山正(JAMSTEC, GODAC)
1-M-16	17:15	高解像度航空写真画像を用いた野外調査: サンゴ礁魚類保全のための生息地評価	○服部昭尚(滋賀大・教育)・澁野拓郎(水産セ・増養殖研)
1-M-17※	17:30	衛星画像を用いた長期的なサンゴ礁の底質分類の精度評価	○石原光則(国環研)・波利井佐紀(琉球大・熱帯生物圏研究センター)・茅根創(東京大・理)・本郷宙軌(国環研)・長谷川均(国士館大・文)・山野博哉(国環研)
1-M-18	17:45	イン(海)・シ(瀬)・ヒシ(干瀬)・イノの用語語源は	○目崎茂和

》》口頭発表 11月5日(土) Oral Presentation, 5 Nov.(Sat)

ホール /Hall 9:45 ~ 12:00

座長 /Chairman : 甲斐清香

2-H-01	9:45	石西礁湖に見られるサンゴ群集の再生のきざしについて	○木村匡(自然環境研究センター)・下池和幸(コーラルリサーチダイバーズ)・吉田稔(海遊)・上野光弘(石西礁湖サンゴ礁調査)
2-H-02	10:00	オニヒトデの大量発生から5年、阿嘉島周辺のサンゴ礁の現状と将来の展望	○谷口洋基(阿嘉島臨海研究所)